

令和 7 年 4 月 守口市農業委員会総会

開催日時 令和 7 年 4 月 2 1 日 午後 2 時 0 0 分～

開催場所 守口市役所 1 階 市民会議室 1 0 4

出席委員 ①西口 誠一 ②田中 明美 ③大倉 利文 ④大西 庄治
⑤砂口 勝紀 ⑥辻本 恵美子 ⑦辻本 卓郎 ⑧中東 郷美
⑨西川 成美 ⑩橋本 徹 ⑪三島 雅子 ⑫山崎 勝彦
⑬山田 哲三

事務局 宇都宮、飯島、西端、大路

閉会時間 午後 2 時 2 6 分

西口会長

若干時間は早いですが、委員の皆様方お集まりいただきありがとうございますので、ただいまから令和 7 年度 4 月の守口市農業委員会総会を開催いたします。

初めに、令和 7 年度事務局職員の異動について、紹介と辞令の交付を行います。よろしくお願いいたします。

まず、3 月末日をもって事務局の任を免ずる職員を紹介させていただきます。

最初に、事務局次長を免ずる寺澤主任でございます。

事務局

2 年間お世話になりました。ありがとうございました。

西口会長

守口市辞令交付、事務職員、寺澤拓也、事務次長を免ずる。令和 7 年 3 月 3 1 日、守口市農業委員会。長い間、御苦労さんでございました。

事務局

ありがとうございました。お世話になりました。
(拍手)

西口会長

守口市辞令、事務職員、満永優太。事務局勤務を免ずる。令和 7 年 3 月 3 1 日、守口市農業委員会。長い間、御苦労さまでした。

いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。

(拍手)

西口会長

ここで、挨拶をいただきましょうか。

事務局

2年間、農業委員会次長ということで務めさせていただきました。皆様方にすごい御指導いただいて本当にありがとうございました。この経験を生かしまして、4月1日から高齢介護課で務めさせていただいておりますので、引き続き守口市の職員として尽力してまいりたいと思っておりますので、今後とも御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願いしたいと思います。今までどうもありがとうございました。

(拍手)

事務局

地域振興課の満永です。2年間ありがとうございました。なかなか地域振興課の事務でしっかりと法律に基づいてという事務はない中で、農業委員会はしっかりと法律に基づいて事務をさせていただくというところで、なかなか私の中で新鮮な機会で、かつ、かなり勉強になったこの2年間だったと思います。

まだ地域振興課の職員としては在籍しておりますので、今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(拍手)

西口会長

お二方ともいろいろお世話になりまして、ありがとうございました。お礼申し上げます。

続いて、次に、4月から新たに事務局に任命した職員を紹介させていただきます。

最初に、辞令交付させていただきます。

守口市辞令、事務職員、飯島知道。事務局次長に命ずる。令和7年4月1日、守口市農業委員会。よろしくお願いいたします。

事務局

よろしくお願いします。ありがとうございます。お願いいたします。

西口会長

守口市辞令、事務職員、西端義晶。事務局勤務を命ずる。令和7年4月1日、守口市農業委員会。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

どうぞよろしくお願いいたします。

西口会長

一言ずつ御挨拶いただいたらありがたいです。

事務局

4月から異動で参りました飯島と申します。

何分いろいろ分からないことがございますけども、御指導、御鞭撻のほうよろしくお願いいたします。よろしくお願いします。

（拍手）

事務局

4月に生涯学習スポーツ振興課から転任をしました、西端でございます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

（拍手）

西口会長

ありがとうございます。これからまた農業委員会のことをいろいろお世話かけると思いますが、よろしくお願い申し上げます。

では、着座させていただきます。

最初に、最近の動きをちょっとお話しさせていただきたいなと思っています。新聞あたり話題になってます。備蓄米の販売の件でありますけども、今まで全農が中心にやっておりましたけれども、利益はほとんどないということでございます。農林水産省では必要な経費だけで運営してたということでございます。ということで、皆さん方も御承知おきお願いしたいと思っています。

あとは米の問題で、テレビあたりでも新聞でも言うてます。米

価格は92%上昇やと。3月の物価も6か月連続最大ですよということが出ております。あとは、備蓄米の卸に流通するのは僅か1%ぐらいやということも既に御承知の方も多いと思います。

あとは総務省のほうが発表しております人口の自然減ですね。最大89万人ということで、18年連続で減っておるということでございます。あとは15歳未満、最低11%やということで非常に人口減が進んできたということでございます。

あとは、AI、人工知能の関係でいろいろ各国とも人工知能AIをつくっているいろんな形で事業を進めておりますけども、中でも中国は官民挙げて取組を進めておるということで、これも皆さん方、新聞紙上でいろいろ情報は取得されておりますが、その一端を紹介させていただきますと、中国ではAIの活用というのはかなりかなり加速してますよということでございます。

その一つの中身をちょっと紹介させていただきますとね、人の内面を読み取りしようということで進んでおります。それAIを利用してこの人は反政府の考えを持ってるかどうか、宗教は何を信仰しているかという内面の自由を侵す、危険を冒してもそういうAIを取り組んでいる事例も出ています。ほんでは兵士の脳を操作しようということも出ています。医療現場で活用も先行しているということで、AIの近未来というのは中国がむちゃくちゃ活用してるということで、教育現場でも小学生にヘッドギアをつけていろいろ批判を浴びて、これは中止になったようですけども、ということで中国はかなりかなりAIを利用して、いいか悪いかは別にして進んでる状況やということを御承知おきいただければと思っております。

あとは、ちょっと違う話になりますけども優良緑地、これは農地の話と違いまして、国土交通省は二酸化炭素吸収量や生物多様性などに優れた民間事業者による特色ある緑地の整備事業を認定する制度を昨年度つくり上げたということで、最近、梅田の地下、裏というか、今、表になってますけども、グラングリーンあたりが三ツ星のあれを受賞したという状況も出てました。

あとは、アメリカのトランプ大統領による関税政策について、貿易戦争に勝者はなしということで、国連の事務総長が発表されてます。それを受けてやっぱり景気後退を懸念されてるという状況です。

あとは、いつもここで皆さん方唱和いただいている農業基本計画ですね。これはもう閣議決定をされましたということは皆さん方、御承知おきやと思います。

あとは動きとしては、寿命の地域格差が拡大してまっせということで、21年度都道府県間の最大2.9年に幅広がってきたということで、1990年から2021年の30年間に日本の平均寿命は5.8年伸びたということは、これはもう御承知やと思います。その一方で、47都道府県で最長と最短の差が拡大してきたと。都道府県によって長生きする県と長生きしない県と出てきたということで、90年の平均寿命が最長が沖縄でございます。80.6歳ということで、最短が何とどこやと思われます。大阪なんです。大阪は78.2歳で差が2.3年だったんです。だんだん広がってきてます。大阪は最短になってる。47都道府県で最短やというような報告も出てました。

それともう一つは、所有者不明地。これがやっぱり活用しようというのは前からそれは出ておりますけれども、これについては農業会議に専門の人材を配置して、それぞれ所有者不明地を活用しようということで出ております。もちろん大阪府の農業会議も専門の職員を配置して所有者不明地を活用するという動きが出てます。

あと、食育の目標というのがありまして、食育基本法というのが出てますけども、大半が未達やということで政府のほうで25年度で野菜の摂取が不足してまっせというのが出てますし、農業体験でも低迷がしてますということが出てます。

あとは、最近我々の朝市の仲間の中でも意見が出てます、ヒヨドリの食害が全国調査をやったと。今までヒヨドリなんか全国調査なんかやってなかったんですけども、全国的にヒヨドリの食害の被害がすごい増えているということで、我々朝市のメンバーの中でもヒヨドリの食害が増えたいうて。今までブロッコリーやとか、ああいうようなちょっと葉っぱの分厚いやつを食害しとるのが多かったんです。今年あたりは菜花のつぼみですね。あの辺りを今まではそなん知らん顔しよったんですけども、菜花のつぼみあたりをもうこっぴどいってますね。ということで、こっちの場合は集団は20から30羽ぐらいなんですけども、全国的にいろいろ調べたら一番多い集団は100羽ぐらいの集団で一斉にわあっと来よるというようなことで、ということで来年はかなりその辺の食害の対応を皆さん方もお考えいただかならんと。そやからネットを上へかぶせるということとか何かそういうことをお考えいただかんと、こっぴどいやられてしまいますよということで御注意いただければありがたいなと思います。

以上で、前段のお話を終わらせていただいて。

それでは、事務局より本日の欠席委員の報告をお願いいたします。

事務局

御報告申し上げます。本日、欠席届が出ている委員は木村委員です。したがって、本日の出席委員数は13名でございます。以上、報告を終わります。

西口会長

定足数を満たしております。本日の総会は成立します。

それでは、初めに、農業委員会憲章を唱和したいと思いますのでお願いいたします。

《農業委員会憲章の唱和》

西口会長

ありがとうございます。

それでは、本日の署名委員は木村委員と砂口委員になりますが、木村委員に代わって誰をしましょう。

事務局

順番で次の方、辻本恵美子委員にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

西口会長

ということで、よろしくお願いいたします。

それでは、議事の進行をしていきたいと思います。

発言に際しては、まず挙手をお願いします。その後、私のほうから指名させていただきます。何度も申し上げますが、私、耳がまた遠なってますので、発言については大きな声で、場合によってはマイク持って発言いただけると非常にありがたいなと思っています。ということで、よろしくお願いいたします。

それでは、付議事件の報告事項に移ります。事務局から説明よろしくをお願いいたします。

事務局

報告事項、「「農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」推進計画」についてです。

お手元の資料を御覧ください。

こちらは、去る令和7年3月21日に開催されました大阪府農業会議、農業委員会会長・農業会議会員等合同会議において、「「農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」推進計画―地域の話し合い活動の実現を通じた大阪農業の活性化を目指して―」を策定した旨の報告及び取組推進について、大阪府農業会議から農業委員会宛てに通知がありました。

人口・農業従事者数・農地の減少、農業経営コストの上昇といった厳しい状況が続く中、国においては「食料・農業・農村基本計画」や「みどりの食料システム戦略」を基に持続可能な農業を推し進めることとされています。

こうした中、大阪府農業委員会組織として、地域の話し合い活動の実現を通じた大阪農業の活性化に取り組むことを目標に策定された計画です。

この計画は、令和7年度から令和9年度までの3年間、府内市町村農業委員会と大阪府農業会議が一体となって進めるものとされています。

委員各位におかれましては、本運動について御確認いただき、大阪農業の活性化に取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

以上、報告になります。

西口会長

ありがとうございました。別にこれ意見を求める話ではないですけども、何か感想なり御意見がありましたら頂戴いたします。紹介ありましたように、今年度初めて、初めてというか3年区切りでずっと大阪農業会議のほうがいろいろ運動を提唱しておりまして、紹介ありましたように農地を生かし、持続可能な大阪農業をつくる運動をこれから3年間進めましょうということで、守口もこれを見習いながら農業計画、推進計画も持っておりますので、これを参考にしながらこれから3年間進めてまいりたいなと思っております。よろしいですかね。

本日の議題は、以上でございます。あと事務局、何か意見がありましたらちょっと紹介。

事務局

次回の総会について御連絡申し上げます。次回の総会は令和7年5月21日水曜日、午後2時から、市役所1階の会議室104

で開催を予定しております。よろしくお願いいたします。
以上です。

西口会長

ありがとうございました。

それでは、以上でございます。令和7年4月の農業委員会総会を終了いたします。御出席いただきましてありがとうございました。

守口市農業委員 署名委員